

小学校教育と幼児教育の連携に関する研究（3）

— 小学校高学年の歌唱教材を通して —

How to Connect the Elementary School Education and Preschool Education (Ⅲ)

— Through the Teaching Materials for Singing of the Fifth and Sixth Grade at the Elementary School Level —

多保田 治 江*

Abstract

Elementary school education is based on kindergarten education, however, it seems that the connection between kindergarten and elementary school has not often been considered in terms of the link between syllabi. Research was done using music textbooks for the 5th and 6th grades, which are being used in elementary schools in Kanazawa. Based on previous research data, 9 aspects in terms of kinds of music pieces, tone-scales, meter, etc. were studied to see if the materials are designed to be taught systematically. The research showed that there were 6 tendencies in the upper grades' materials: (1) pieces dealing with nature and customs are taught for more than half the time; (2) the number of pieces which employ piano melodies increases compared to lower grades' materials; (3) the number of minor scale pieces increases; (4) $\frac{3}{4}$ time pieces increase; (5) more various kinds of rhythm patterns are taught; and (6) longer pieces tend to be taught more.

キーワード：小学校教育／幼児教育／歌唱教材の連携

はじめに

小学校教育と幼児教育の連続性を図るために様々な交流活動が行われている。幼児期の育ちや学びが小学校教育の基盤となると考えられるが、「教育内容のつながり」や「学び方のつながり」の側面から連携の意味をとらえることは少なかったように思われる。そこで「教育内容のつながり」や「学び方のつながり」について歌唱教材を通して連携の意味をとらえることとした。「小学校教育と幼児教育の連携に関する研究—小学校低学年の歌唱教材を通して—」¹⁾では、小学校第1学年の歌唱教材が小学校教育と幼児教育の橋渡しの役目を担っていることが分かった。このシリーズ2回目の「小学校教育と幼児教育の連携に関する研

究(2)—小学校中学年の歌唱教材を通して—」²⁾では、①旋律が伴奏にない伴奏譜に移行する ②数多くのリズムパターンを使用するようになる ③音域が広がる ④広い音程を多く使用するようになるという特徴が分かった。

今回の小論では小学校教育と幼児教育の連携について、小学校高学年の歌唱教材の分析を通して系統性や発展性について考察することが研究目的である。

I 小学校高学年の指導内容について

「教育基本法」に基づき、学校について定めた「学校教育法」では、小学校教育の目的は「心身の発達に応じて、初等普通教育を施すこと」(学校教育法 第17条)にあり、小学校教育の目標の一つに、「八.生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸等について、基礎的な理解と技能を養うこと」(学

* Harue TABOTA
北陸学院大学 人間総合学部 幼児児童教育学科
音楽科、演奏の基礎

校教育法第18条)が掲げられている。音楽科は、主に第八の条項とのかかわりにおいて教科として成立している。学校教育における児童の音楽指導は、明るく潤いのある生活を送ることに役立つ音楽活動のための基礎的な能力を養うことである。指導の目標を達成するために、具体的にどんな指導内容を、どんな教材を用いて指導するのかを決定しなければならないが、文部科学省の学習指導要領が指導内容の大枠と一部の教材を「共通教材」として示している。³⁾ 第5学年の主となる歌唱教材は、共通教材の「こいのぼり」(文部省唱歌)、「子もり歌」日本古謡、「スキーの歌」(文部省唱歌) 林 柳波作詞 橋本国彦作曲、「冬げしき」(文部省唱歌)の中から2曲を含めて、斉唱及び合唱

で歌う楽曲を取り扱う。第6学年の主となる歌唱教材は、共通教材の「おぼろ月夜」(文部省唱歌) 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲、「われは海の子」(歌詞は第3節まで) (文部省唱歌)、「ふるさと」(文部省唱歌) 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲、「越天楽今様」(歌詞は第2節まで) 慈鎮和尚 作歌、日本古謡の中から2曲を含めて、斉唱及び合唱で歌う楽曲を取り扱う。

今回分析を行った教科書は、学習指導要領の内容を機能的に関連させ設定した題材は各学年とも7つにまとめられ、6年間を通して段階的・系統的な学習ができるように配列している。⁴⁾ 小学校高学年の全体目標を「創造的に」とし、次のような三層構造の題材構成になっている。題材のね

表1

	高学年	
	5年	6年
導入的音楽学習 導入	ふしの重なり合いを感じ取ろう	ふしの重なり合いを味わおう
	いろいろな音楽との出会い	世界の音楽に親しもう
深まる音楽学習 各学年の重点事項 (音楽の三要素) 音色 曲想・イメージ	重なり合う音の美しさを味わおう	
	いろいろなひびきを味わおう	
	曲想を感じ取ろう	
広がる音楽学習 日本の音楽 合唱・合奏 まとめ	日本の音楽を味わおう	
	心をこめて演奏しよう	

らいを達成するために複数の教材が配属されている。また、5年生ではアジアの国々、6年生では世界の国々にも目を向け、それぞれの音楽を親しみ、我が国と諸外国との音楽文化の違いや、それぞれのよさを感じ取る活動も進めていくように構成されている。⁵⁾

Ⅱ 教材の楽譜分析

1. 分析対象曲

対象曲は「小学生の音楽 5」⁶⁾ に収録されている 26 曲と「小学生の音楽 6」⁷⁾ に収録されている 25 曲を用いた。

2. 分析方法

歌のジャンル、楽譜の種類、音階の種類、拍子、小節数・コーラス数、リズムパターン、開始音、音域、音程関係の 9 項目について分析を行った。

3. 結果と考察

これまでの音楽経験とのつながりつまり系統性や発展性について考察するために、対象曲の分析結果と 3 つの分析結果の比較を行った。3 つの分析結果とは、「小学校低学年の歌唱教材」、「小学校中学年の歌唱教材」の分析結果と幼稚園・保育所でよくうたわれている子どものうたを調査し、先行研究で作成した「よくうたわれている子どものうたベスト 50」⁸⁾ の分析結果である。

○歌のジャンル

歌のジャンルを「生活・遊び」、「季節・行事・自然」、「動物・植物・食物・乗り物」、「その他」に分類して分析を行った。幼児期から小学校中学年までの歌唱教材は「生活・遊び」に関する歌が最も多かったが、小学校高学年では「季節・行事・自然」に関する歌が過半数を占めるという違いが今回の調査で分かった。分析を行った小学校高学年は、「創造的に」を全体目標とし、「旋律の特徴や音色に気を付けて歌唱や楽器による表現や鑑賞を楽しむことができるようにする」ことに重点を置いて教材が選曲されている。

「小学生の音楽 5」「小学生の音楽 6」に収録されている歌唱教材には「よくうたわれている子どものうたベスト 50」と重複する曲はなかった。しかしながら、「小学生の音楽 5」に収録されている曲の中で「世界がひとつになるまで」2 園（幼稚園 2）・「ゆかいに歩けば」1 園（幼稚園 1）の 2 曲は、5 歳児対象に歌われていた。小学校低学年の歌唱教材では「よくうたわれている子どものうたベスト 50」の曲が 14 曲収録されていたが、小学校中学年、小学校高学年の歌唱教材には収録されていなかった。また、小学校中学年の歌唱教材には 100 園中 55 園（幼稚園 26・保育所 29）で歌われている「せかいじゅうの子どもたちは」・100 園中 38 園（幼稚園 18・保育所 20）で歌われている「子どもの世界」・100 園中 13 園（幼稚園 8・保育所 5）で歌われている「おどろう楽しいポーレチケ」が収録されていたが、小学校高学年の歌

表 2 歌のジャンル

	小学生の音楽 5	小学生の音楽 6	よくうたわれている 子どものうたベスト 50	小学校低学年	小学校中学年
生活・遊び	9 曲 (35%)	9 曲 (36%)	20 曲 (40%)	28 曲 (44%)	25 曲 (45%)
季節・行事・自然	14 曲 (54%)	13 曲 (52%)	17 曲 (34%)	16 曲 (25%)	14 曲 (25%)
動物・植物・食物 乗り物	2 曲 (8%)	2 曲 (8%)	13 曲 (26%)	15 曲 (24%)	14 曲 (25%)
その他	1 曲 (4%)	1 曲 (4%)	0 曲	4 曲 (6%)	2 曲 (4%)
計	26 曲	25 曲	50 曲	63 曲	55 曲

唱教材では1・2園の幼稚園で歌われている曲が2曲あったのみだった。

○楽譜の種類

歌う時に演奏される伴奏によって、児童は楽曲の雰囲気や音楽を特徴付けている要素を感じ取ることができる。

そこで対象曲の伴奏譜の種類を行った。

楽譜を次の4種類に分けることとする。

- 一段楽譜・・・遊び歌の楽譜によく見られる旋律だけの楽譜
- 二段楽譜・・・大譜表で書かれ、右手旋律・左手伴奏の楽譜
- 三段楽譜・・・旋律のパートが一段と伴奏パートが大譜表で書かれた楽譜
 - A 伴奏パートの右手和音の上声部が旋律の楽譜
 - B 伴奏パートに旋律がない楽譜(例えば、コードに合わせ両手でリズムを刻むように書かれた楽譜)

「小学生の音楽5」26曲、「小学生の音楽6」25曲ともに伴奏譜が全曲に付けられている。「小学生の音楽5」の伴奏譜26曲の中で、旋律が伴奏で演奏されるもの35%、そうでないもの65%の

比率であった。また、「小学生の音楽6」の伴奏譜25曲の中で、旋律が伴奏で演奏されるもの32%、そうでないもの68%の比率で同じ傾向を示した。「よくうたわれている子どものうた50」では旋律が伴奏で演奏されるもの71%と旋律が伴奏で演奏されるものが圧倒的に多かった。その後旋律が伴奏で演奏されるものは小学校低学年では35%、小学校中学年では25%、小学校高学年では33%であった。このような結果の原因は高学年では変声期を迎える子どもが増えてくるために声を支えなければならないという伴奏の役割にも起因すると思われる。

○音階の種類

使用されていた音階の種類は、長音階・短音階・日本の音階であった。「小学生の音楽5」ではFdur、Cdur、Gdur、amollの順で20曲あり、全体の77%を占めた。「小学生の音楽6」ではFdur、Cdur、Ddurの順で18曲あり、全体の72%を占めた。短音階の歌は「よくうたわれている子どものうた50」・小学校低学年・小学校中学年では1曲のみであったが、小学校高学年では6曲(12%)収録されていた。これは高学年ではCdurの視唱に加え、amollの視唱にも親しむように教科書が作成されているためである。⁹⁾

○拍子

2拍子系の歌唱教材が「小学生の音楽5」では

表3 楽譜の種類

	小学生の音楽 5	小学生の音楽 6
旋律が伴奏にあるもの	9曲	8曲
一段楽譜	0曲	0曲
二段楽譜	0曲	0曲
三段楽譜A	6曲	5曲
	3曲*	3曲*
旋律が伴奏にないもの	17曲	17曲
三段楽譜B	17曲	17曲
計	26曲	25曲

*三段楽譜Aと三段楽譜Bの併用型・・・部分的に旋律が明確に現れるもの

21曲(81%)、「小学生の音楽6」では21曲(84%)と圧倒的に多かった。この傾向は「よくうたわれている子どものうた50」「小学校低学年の歌唱教

材」「小学校中学年の歌唱教材」においても同様であった。3拍子系の歌唱教材は「小学生の音楽5」では「アリラン」「秋にさよなら」「冬げしき」「朝

表4 音階の種類

音階の種類		曲数				
長音階	短音階	小学生の音楽5	小学生の音楽6	よくうたわれている子どものうたベスト50	小学校低学年	小学校中学年
		C dur		7曲	6曲	13曲
	c moll	0曲	0曲	1曲	1曲	0曲
D dur		1曲	3曲	11曲	7曲	0曲
	d moll	1曲	1曲	0曲	0曲	0曲
Es dur		1曲	0曲	0曲	0曲	0曲
	e moll	0曲	1曲	0曲	0曲	0曲
F dur		9曲	9曲	14曲	15曲	13曲
G dur		2曲	0曲	7曲	3曲	12曲
	a moll	2曲	1曲	0曲	0曲	1曲
B dur		0曲	2曲	0曲	0曲	2曲
C dur→F dur		1曲	0曲	0曲	0曲	0曲
わらべ歌の音組織		0曲	0曲	4曲	4曲	1曲
日本の音階		2曲	2曲	0曲	2曲	5曲
計		26曲	25曲	50曲	63曲	55曲

表5 拍子

	拍子の種類	曲数			
		小学生の音楽5		小学生の音楽6	
2拍子系	4分の2拍子	2曲	21曲	0曲	21曲
	4分の4拍子	16曲		19曲	
	8分の6拍子	2曲		2曲	
	4分の4拍子 + 4分の2拍子	1曲		0曲	
3拍子系	4分の3拍子	5曲	5曲	4曲	4曲
計		26曲		25曲	

日をあびて」「海」の5曲、「小学生の音楽6」では「おぼろ月夜」「勇気ひとつを友にして」「ふるさと」「浜千鳥」の4曲であった。

○小節数・コーラス数

小節数・コーラス数は曲の長さに影響を与える。1コーラス8小節の中で歌の持ち味を表現しなくてはならない歌唱教材は、「小学生の音楽5」に収録されている「子もり歌」の1曲であった。一

方、最も長い歌唱教材は「小学生の音楽5」に収録されている「つばさをだいて」で129小節かけて歌うものであった。「よくうたわれている子どものうた50」では「おもいでアルバム」(102小節)、「小学校低学年の歌唱教材」では「ドレミのうた」(107小節)、「小学校中学年の歌唱教材」では「子どもの世界」(96小節)に比べると最も長くなったと言える。小節数が4の倍数で作曲された教材が「小学生の音楽5」では20曲(77%)、

表6 小節数・コーラス数

小節数・コーラス数	曲数	
	小学生の音楽5	小学生の音楽6
8×11/0・8×3 1/1	2曲	1曲
11×11/1	1曲	1曲
16×11/0・16×2 8/5・16×3 4/3	13曲	8曲
18×20/1 18×31/0	1曲	1曲
20×10/1 20×20/3	0曲	4曲
22×21/0	1曲	0曲
24×10/1 24×20/1	0曲	2曲
26×20/1	0曲	1曲
28×11/0	1曲	0曲
32×2 1/0・32×3 1/1	2曲	1曲
33×2 1/0	1曲	0曲
51×1 0/1	0曲	1曲
52×1 1/0	1曲	0曲
57×1 0/1	0曲	1曲
60×1 0/1	0曲	1曲
16×2+3 0/1	0曲	1曲
16×3+10 0/1	0曲	1曲
17×2+10 1/0	1曲	0曲
32×2+9 1/0 32×2+10 0/1	1曲	1曲
129×1 1/0	1曲	0曲
計	26曲	25曲

「小学生の音楽 6」では17曲(68%)であったことが特徴である。

○リズムパターン

教材ごとに使用されているリズムパターンを調べた結果、「小学生の音楽 5」に収録されている歌唱教材では「わたり鳥と少年」(24小節)・「ほたるの光」(32小節)の3パターンから「つばさをだいて」(129小節)の35パターンまで使用されていた。「小学生の音楽 6」に収録されている歌唱教材では「あおげばとうし」(32小節)の2パターンから「この星に生まれて」(74小節)の19パターンまで使用されていた。小学校高学年では3パターンから9パターンで作られた教材曲が32曲(63%)と多かった。学年とともに数多くのリズムパターンを使用するようになることが分かった。

次に、拍子別にリズムパターンを調べた。「小学生の音楽 5」に収録されている16曲ある4分の4拍子の歌唱教材には97種類のリズムパターン、2曲ある4分の2拍子の歌唱教材には10種類のリズムパターン、2曲ある8分の6拍子の歌唱教材には6種類のリズムパターン、5曲ある4分の3拍子の歌唱教材には16種類のリズムパタ

ーンが使用されていた。一方、「小学生の音楽 6」に収録されている19曲ある4分の4拍子の歌唱教材には96種類のリズムパターン、2曲ある8分の6拍子の歌唱教材には9種類のリズムパターン、4曲ある4分の3拍子の歌唱教材には13種類のリズムパターンが使用されていた。「よくうたわれている子どものうた 50」・「小学校低学年の歌唱教材」では4分の2拍子の歌唱教材が多かったが、「小学生の音楽 6」の歌唱教材には1曲も収録されていなかった。また、「小学生の音楽 6」に収録されている25曲中、アーフタクトで始まる曲が13曲(52%)もあったことが特徴である。(なお、1曲中に同じリズムパターンが現れても1回として扱った。)

表7 リズムパターン

パターン数	曲数		パターン数	曲数	
	小学生の音楽 5	小学生の音楽 6		小学生の音楽 5	小学生の音楽 6
2	0曲	1曲	1 2	1曲	3曲
3	2曲	2曲	1 3	1曲	1曲
4	1曲	4曲	1 5	2曲	1曲
5	3曲	3曲	1 6	0曲	1曲
6	3曲	2曲	1 7	1曲	1曲
7	3曲	1曲	1 9	1曲	1曲
8	3曲	0曲	2 2	1曲	0曲
9	3曲	2曲	3 5	1曲	0曲
1 0	0曲	2曲	計	2 6曲	2 5曲

◆ 4分の4拍子で多いリズムパターン (小学生の音楽 5 16曲、小学生の音楽 6 19曲)

①12 ②9 ③8 ④7 ④7 ⑥6
 ②10 1 4 ③8 ⑥5 ⑥5

⑥6 ⑥6 ⑨5 ⑩4 ⑩4 ⑩4
 ⑤7 ⑥5 ③8 3 1 1

⑩4 ⑩4 ⑩4 2 2
 1 ⑥5 0 ①10 ⑥5

◆ 4分の2拍子で多いリズムパターン (小学生の音楽 5 2曲、小学生の音楽 6 0曲)

①2 ①2 ①2 ①2

◆ 8分の6拍子で多いリズムパターン (小学生の音楽 5 2曲、小学生の音楽 6 2曲)

①2 ①2 0
 ①2 ③1 ①2

◆ 4分の3拍子で多いリズムパターン (小学生の音楽 5 5曲、小学生の音楽 6 4曲)

①5 ②4 ③3 ③3 ③3 ⑥2 ⑥2
 ①3 ③2 ⑦1 0 0 ③2 0

⑥2 1 1
 ⑦1 ①3 ③2

○開始音と音域

最も音域の広い歌唱教材は「小学生の音楽5」では「まつり花」、「小学生の音楽6」では「われは海の子」「越天楽今様」の1オクターブと完全4度の隔たりであった。最も音域の狭い歌唱教材は「小学生の音楽5」では「大空がむかえる朝」(短7度)「大空よあなたのもとに」(短7度)、「小学生の音楽6」では「こげよマイケル」(長6度)であった。

「小学生の音楽5」に収録されている歌唱教材の開始音は、 $f^1 \cdot g^1$ (5曲)、 $d^1 \cdot e^1 \cdot a^1$ (4曲)、 c^1 (2曲)の順であった。「小学生の音楽6」に収録されている歌唱教材の開始音は、 c^1 (6曲)、 $e^1 \cdot g^1$ (4曲)、 $d^1 \cdot a^1$ (3曲)の順であった。また、「小学生の音楽5」の最も低い開始音の歌唱教材は c^1 の「アリ

ラン」「ほたるの光」の2曲、最も高い開始音の歌唱教材は c^2 の「大空よあなたのもとに」であった。「小学生の音楽6」の最も低い開始音の歌唱教材は c^1 の「思い出のメロディー」「こげよマイケル」「さよなら友よ」「さようなら」「浜千鳥」「銀河鉄道之歌」の6曲、最も高い開始音の歌唱教材は c^2 の「星の世界」であった。開始音と音域に関しては小学校中学年と同じ傾向であった。

○音程関係

分析方法は旋律各2音間の音程において完全1度の関係を0とし、短2度の関係を0.5という数値で音の隔たりを示した。音程関係1(長2度)と音程関係0(完全1度)が多く使用されており、「小学生の音楽5」の歌唱教材では両者で全体の

表8 開始音と音域

音域	小学生の音楽 5		小学生の音楽 6	
	曲数	開始音	曲数	開始音
a - d ²	0曲		1曲	d ¹ 1
b - es ²	1曲	g ¹	0曲	
b - d ²	3曲	d ¹ 1・f ¹ 1・a ¹ 1	0曲	
h - e ²	0曲		1曲	e ² 1
c ¹ - e ²	3曲	e ¹ 1・g ¹ 2	2曲	c ¹ 1・f ¹ 1
c ¹ - es ²	0曲		1曲	d ¹ 1
c ¹ - d ²	10曲	c ¹ 1・d ¹ 1・e ¹ 2・f ¹ 4・a ¹ 2	12曲	c ¹ 3・d ¹ 1・e ¹ 3・f ¹ 1・g ¹ 1 a ¹ 2・c ² 1
c ¹ - c ²	4曲	c ¹ 1・e ¹ 1・g ¹ 1・a ¹ 1	1曲	c ¹ 1
c ¹ - a ¹	0曲		1曲	c ¹ 1
cis ¹ - d ²	1曲	fis ¹ 1	1曲	fis ¹ 1
d ¹ - e ²	0曲		2曲	g ¹ 1・a ¹ 1
d ¹ - d ²	1曲	d ¹ 1	1曲	e ¹
d ¹ - c ²	2曲	d ¹ 1・g ¹ 1	1曲	g ¹
dis ¹ - e ²	0曲		1曲	g ¹
e ¹ - d ²	1曲	c ² 1	0曲	
計	26曲		25曲	

表9 音程関係

音程	小学生の音楽 5		小学生の音楽 6	
	使用頻度	使用率	使用頻度	使用率
0	495	20.89%	405	22.21%
0.5	352	14.85%	250	13.71%
1	948	40.01%	681	37.35%
1.5	222	9.37%	165	9.05%
2	117	4.93%	74	4.05%
2.5	124	5.23%	134	7.35%
3	2	0.08%	0	0
3.5	46	1.94%	50	2.74%
4	14	0.60%	22	1.20%
4.5	38	1.60%	30	1.64%
5	5	0.21%	5	0.27%
5.5	0	0	2	0.10%
6	6	0.25%	5	0.27%
総数	2369	100%	1823	100%

61%、「小学生の音楽 6」の歌唱教材では全体の60%を占めた。音程関係の流れを辿ると「よくうたわれている子どものうた 50」の特徴として遊び歌（手遊び歌やわらべ歌）が含まれているために音程関係0（完全1度）の使用頻度が高かった。一方小学校の歌唱教材では音程関係1（長2度）と音程関係0（完全1度）の使用頻度が高く、両者の関係は高学年になるにつれて音程関係1（長2度）の割合が大きくなった。

次に、旋律を構成する3音間の音程関係を調べ、集計を行った。これは、3音の流れの特徴を掴むためである。旋律の流れの上昇はプラス、下降はマイナスとして分析した。旋律を構成する3音間の音程関係は①上昇→上昇、②上昇→同音、③上昇→下降、④同音→上昇、⑤同音→同音、⑥同音→下降、⑦下降→上昇、⑧下降→同音、⑨下降→下降の9パターンがあり、分析結果が次である。

「小学生の音楽 5」の歌唱教材では3音の流れが下降し上昇する⑦パターン、上昇する①パター

ン、上昇し下降する③パターン、下降する⑨パターンの順であった。「小学生の音楽 6」の歌唱教材では3音の流れが下降する⑨パターン、下降し上昇する⑦パターン、上昇し下降する③パターン、上昇する①パターンの順であった。反対に同音を含むパターンの使用頻度は「小学生の音楽 5」「小学生の音楽 6」の歌唱教材ともに少ないという同じ傾向を示した。（別表1,2参照）

広い音程が7箇所以上ある歌唱教材は、小学校低学年1曲、小学校中学年5曲、小学校高学年7曲と年齢とともに広い音程を使用するようになることが分かった。一方、幼稚園・保育所でよくうたわれている曲から作成した「よくうたわれている子どものうたベスト 50」の広い音程が7箇所以上ある曲は、3曲（ジングルベル・バスごっこ・コンコンクシャンのうた）もあった。これらのうたの指導にあたっては指導者の配慮が必要であると思われる。

音程9パターンの使用頻度 (上段・・・小学生の音楽5 下段・・・小学生の音楽6)

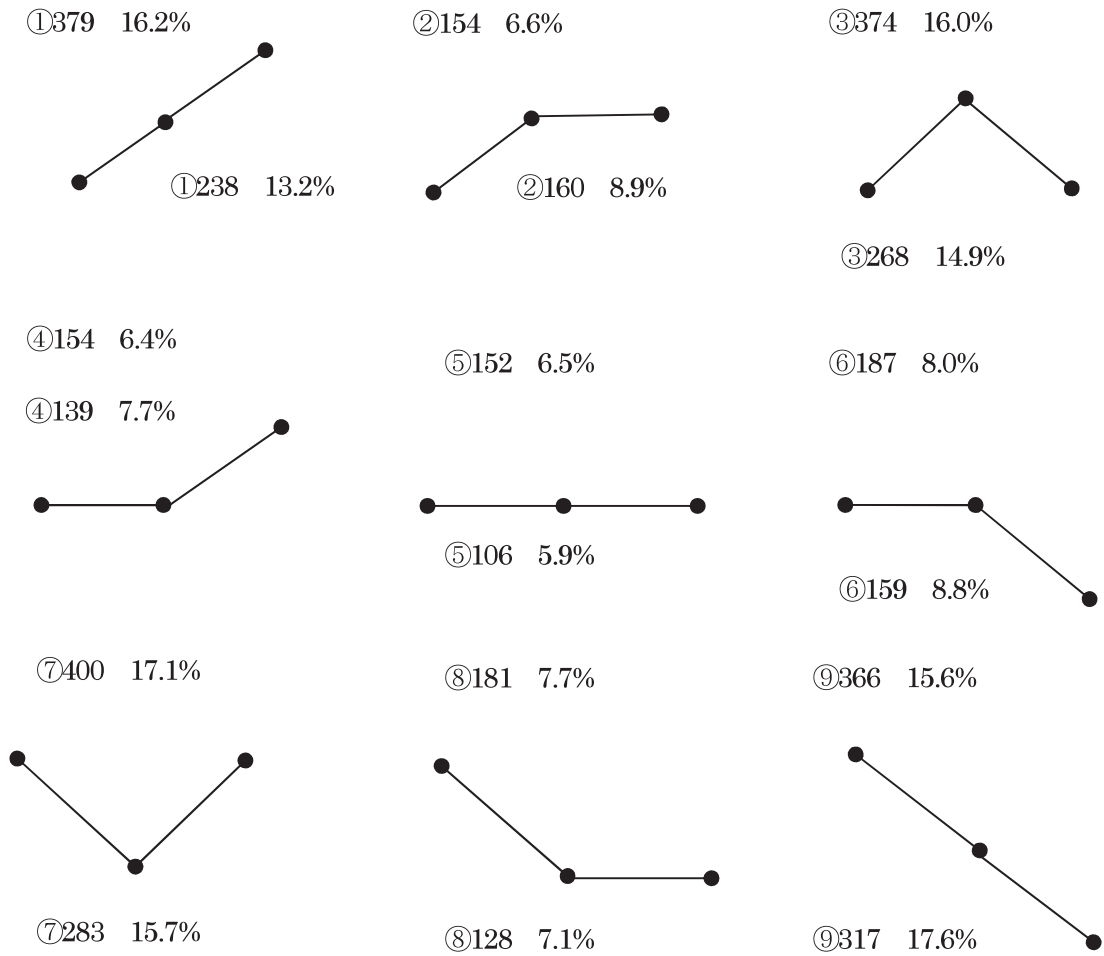


表 10 音程の隔たりが広い歌唱教材

曲名	学年	音程 I	音程 II	使用音名
浜千鳥	6	-6	1	c ² -c ¹ -d ¹
街は光の中に	6	-6	2. 5	d ² -d ¹ -g ¹
銀河鉄道の歌	6	-6	4	d ² -d ¹ -b ¹
つばさをだいて	5	-6	4. 5	c ² -c ¹ -a ¹
思い出のメロディー	6	-6	4. 5	
世界がひとつになるまで	5	-5	0	d ² -e ¹ -e ¹
一日一歩の未来	6	-5	0. 5	d ² -e ¹ -f ¹
君が代	全	-5	1. 5	d ² -e ¹ -g ¹
つばさをだいて	5	-5	4	c ² -d ¹ -b ¹
さよなら友よ	6	-5	4	
銀河鉄道のうた	6	-5	4. 5	b ¹ -c ¹ -a ¹
明日に向かって	5	-4. 5	0	a ¹ -c ¹ -c ¹ (2回)

つばさをだいて	5	-4. 5	0	$d^2 - f^1 - f^1$ (3回)
スキーの歌	5	-4. 5	1	$h^1 - d^1 - e^1$
一日一歩の未来	6	-4. 5	1	} $a^1 - c^1 - d^1$
歌よ ありがとう	6	-4. 5	1	
明日に向かって	5	-4. 5	2. 5	$a^1 - c^1 - f^1$
星空はいつも	6	-4. 5	4. 5	} $a^1 - c^1 - a^1$ (2回)
にじを歌って	6	-4. 5	4. 5	
スキーの歌	5	-4. 5	5	$h^1 - d^1 - c^2$ (2回)
世界がひとつになるまで	5	-4	-1	$c^2 - e^1 - d^1$ (3回)
世界がひとつになるまで	5	-4	0	$c^2 - e^1 - e^1$ (4回)
広い空の下で	6	-4	0	$b^1 - d^1 - d^1$
あおげばとうとし	5	-4	0. 5	$a^1 - cis^1 - d^1$
さよなら友よ	6	-4	1	$b^1 - d^1 - e^1$
明日に向かって	5	-4	1. 5	$c^2 - e^1 - g^1$ (2回)
アンデスの祭り	6	-3. 5	4	$h^1 - e^1 - c^2$ (2回)
Believe	5	-3. 5	4. 5	} $g^1 - c^1 - a^1$ (2回)
つばさをだいて	5	-3. 5	4. 5	
スキーの歌	5	-3. 5	4. 5	} $a^1 - d^1 - h^1$ (2回)
大空がむかえる朝	5	-3. 5	4. 5	
にじを歌って	6	-3. 5	5. 5	$c^2 - f^1 - e^2$ (2回)
Believe	5	-2. 5	4. 5	$f^1 - c^1 - a^1$
つばさをだいて	5	-2	-6	$e^2 - c^2 - c^1$
さよなら友よ	6	-2	-5	$e^2 - c^2 - d^1$
大空よ あなたののもとに	5	-2	4. 5	} $a^1 - f^1 - d^2$ (3回)
Believe	5	-2	4. 5	
つばさをだいて	5	-2	4. 5	$a^1 - f^1 - d^2$ (2回)
大空がむかえる朝	5	-2	4. 5	$fis^1 - d^1 - h^1$
つばさをだいて	5	-1. 5	4	} $g^1 - e^1 - c^2$ (2回)
一日一歩の未来	6	-1. 5	4	
歌に 願いを	6	-1. 5	4	(4回)
星空はいつも	6	-1. 5	4	$f^1 - d^1 - b^1$ (2回)
世界がひとつになるまで	5	-1	-5	$e^2 - d^2 - e^1$
一日一歩の未来	6	-1	-4. 5	$h^1 - a^1 - c^1$
さよなら友よ	6	-1	-4	$c^2 - b^1 - d^1$

あおげばとうし	6	-1	-4	$h^1 - a^1 - c^1$
明日に向かって	5	-1	4. 5	$d^1 - c^1 - a^1$
冬げしき	5	-1	4. 5	
越天楽今様	6	-1	4. 5	$e^1 - d^1 - h^1$
にじを歌って	6	-1	4. 5	$g^1 - f^1 - d^2$
銀河鉄道のうた	6	-1	4. 5	
さよなら友よ	6	-1	5	$d^1 - c^1 - b^1$
静かにねむれ	5	-1	6	$d^1 - c^1 - c^2$ (4回)
南風にのって	5	-1	6	$e^1 - d^1 - d^2$
つばさをだいて	5	0	-5	$c^2 - c^2 - d^1$
明日に向かって	5	0	-4. 5	$a^1 - a^1 - c^1$
歌よ ありがとう	6	0	-4. 5	
世界がひとつになるまで	5	0	-4	$c^2 - c^2 - e^1$ (3回)
広い空の下で	6	0	-4	$b^1 - b^1 - d^1$
世界がひとつになるまで	5	0	4	$e^1 - e^1 - c^2$
南風にのって	5	0	4	$f^1 - f^1 - d^2$
つばさをだいて	5	0	4	$d^1 - d^1 - b^1$
星空はいつも	6	0	4	
ゆかいに歩けば	5	0	4. 5	$g^1 - g^1 - e^2$
歌に願いを	6	0	4. 5	
明日に向かって	5	0	4. 5	$c^1 - c^1 - a^1$
一日一歩の未来	6	0	4. 5	
さようなら	6	0	4. 5	(2回)
この星に生まれて	6	0	4. 5	
つばさをだいて	5	0	4. 5	$f^1 - f^1 - d^2$ (2回)
思い出のメロディ	6	0	4. 5	
星空はいつも	6	0	4. 5	(2回)
さよなら友よ	6	0	4. 5	
あおげばとうし	6	0	4. 5	$d^1 - d^1 - h^1$
この星に生まれて	6	0	6	$c^1 - c^1 - c^2$
世界がひとつになるまで	5	0. 5	-4	$h^1 - c^2 - e^1$ (4回)
つばさをだいて	5	0. 5	-4	
つばさをだいて	5	0. 5	4. 5	$e^1 - f^1 - d^2$
銀河鉄道のうた	6	0. 5	-5	$a^1 - b^1 - c^1$

君が代	全	1	-5	} $c^2 - d^2 - e^1$
一日一歩の未来	6	1	-5	
スキーの歌	5	1	-4. 5	$a^1 - h^1 - d^1$ (3回)
歌よ ありがとう	6	1	4	$d^1 - e^1 - c^2$ (2回)
浜千鳥	6	2. 5	-6	$g^1 - c^2 - c^1$
街は光の中に	6	2. 5	-6	$a^1 - d^2 - d^1$
それは地球	5	2. 5	-4	} $g^1 - c^2 - e^1$
明日にむかって	5	2. 5	-4	
ほたるの光	5	2. 5	4. 5	$c^1 - f^1 - d^2$
思い出のメロディ	6	3. 5	-6	$f^1 - c^2 - c^1$
アンデスの祭り	6	4	-1. 5	} $e^1 - c^2 - a^1$ (2回)
歌に願いを	6	4	-1. 5	
世界がひとつになるまで	5	4	-0. 5	} $e^1 - c^2 - h^1$
歌に願いを	6	4	-0. 5	
つばさをだいて	5	4	-0. 5	} $d^1 - b^1 - a^1$ (2回)
銀河鉄道の歌	6	4	-0. 5	
南風にのって	5	4	0	$fis^1 - d^2 - d^2$ (2回)
星空はいつも	6	4	0	} $d^1 - b^1 - b^1$
さよなら友よ	6	4	0	
つばさをください	6	4	0	} $e^1 - c^2 - c^2$ (4回)
歌よ ありがとう	6	4	0	
つばさをだいて	5	4	1	$e^1 - c^2 - d^2$ (2回)
星空はいつも	6	4	1	$d^1 - b^1 - c^2$ (2回)
銀河鉄道の歌	6	4. 5	-6	$f^1 - d^2 - d^1$
つばさをだいて	5	4. 5	-2	$f^1 - d^2 - b^1$ (2回)
冬げしき	5	4. 5	-1	} $c^1 - a^1 - g^1$
この星に生まれて	6	4. 5	-1	
思い出のメロディ	6	4. 5	-1	(3回)
さよなら友よ	6	4. 5	-1	
にじを歌って	6	4. 5	-1	(2回)
銀河鉄道の歌	6	4. 5	-1	
つばさをだいて	5	4. 5	-1	(2回) $f^1 - d^2 - c^2$ (2回)
スキーの歌	5	4. 5	-1	$d^1 - h^1 - a^1$ (2回)
ゆかいに歩けば	5	4. 5	-1	} $g^1 - e^2 - d^2$

歌に 願いを	6	4. 5	-1	
ほたるの光	5	4. 5	-1	$f^1 - d^2 - c^2$
大空がむかえる朝	5	4. 5	0	$d^1 - h^1 - h^1$ (2回)
越天楽今様	6	4. 5	0	
あおげばとうとし	6	4. 5	0	$c^1 - a^1 - a^1$ (2回)
明日にむかって	5	4. 5	0	
つばさをだいて	5	4. 5	0	(2回)
銀河鉄道の歌	6	4. 5	0	(2回)
一日一歩の未来	6	4. 5	0	(2回) $f^1 - d^2 - d^2$ (2回)
Believe	5	4. 5	0	
さようなら	6	4. 5	0	$f^1 - d^2 - d^2$
大空よ あなたののもとに	5	4. 5	0	$f^1 - d^2 - d^2$ (3回)
思い出のメロディ	6	4. 5	0	
星空はいつも	6	4. 5	0	
さよなら友よ	6	4. 5	0	
にじを歌って	6	4. 5	0	$c^1 - a^1 - b^1$ (2回)
星空はいつも	6	4. 5	0. 5	
一日一歩の未来	6	4. 5	1	$c^1 - a^1 - h^1$
さよなら友よ	6	5	-0. 5	$c^1 - b^1 - a^1$
スキーの歌	5	5	-0. 5	$d^1 - c^2 - h^1$ (2回)
にじを歌って	6	5. 5	-1	$f^1 - e^2 - d^2$ (2回)
静かにねむれ	5	6	-1. 5	$c^1 - c^2 - a^1$ (3回)
静かにねむれ	5	6	-0. 5	
この星に生まれて	6	6	-0. 5	$c^1 - c^2 - h^1$
南風にのって	5	6	0	(2回)
				$d^1 - d^2 - d^2$

広い音程の数	曲数	小学生の音楽 5	小学生の音楽 6
17	1曲	つばさをだいて	
10	1曲		さよなら友よ
8	5曲	世界がひとつになるまで 明日に向かって	星空はいつも 一日一歩の未来 銀河鉄道の歌
6	2曲	スキーの歌	にじを歌って
5	2曲		思い出のメロディー 歌に願いを
4	2曲		歌よありがとう あおげばとうとし

おわりに

小学校教育と幼児教育の連携について、今回の小論では、小学校高学年の歌唱教材の分析を通して教材の系統性や発展性について考察することを通して論じた。その結果次のことが分かった。

- ①「季節・行事・自然」に関する歌が過半数を占めるようになる
- ②旋律が伴奏で演奏されるものが小学校中学年の歌唱教材に比べて多くなる
- ③短音階の曲が多くなる
- ④4分の3拍子の曲が多くなる
- ⑤数多くのリズムパターンを使用するようになる
- ⑥長い曲が多くなるという特徴があることが分かった。

「音楽を感じるということは、音楽と共に息をしたり、身体を動かしたり、口ずさんだり歌ったり、端的に言って、音楽と一体化することである」¹⁰⁾とマルコム・テイト & ポール・ハック (Malcolm Tait & Paul Haack) は述べている。

小学校の音楽教科書を低学年・中学年・高学年に分けて歌唱教材の系統性や発展性について考察した。子どもにとって歌うことのスタートラインは幼児教育の場である。この時期を大切にしたい。また、小学校教育と異なり指導する歌の選曲は指

導者に任されている。それゆえに、小学校教育との連携を検討した上での選曲が重要である。

幼児や児童のために何が必要なのか、何が実行できるのか今後も考えていきたい。

<引用・参考文献>

- 1) 多保田治江 2007「小学校教育と幼児教育の連携に関する研究－小学校低学年の歌唱教材を通して－」『北陸学院短期大学幼児児童研究所紀要』第1号 P.1-12
- 2) 多保田治江 2008「小学校教育と幼児教育の連携に関する研究(2)－小学校中学年の歌唱教材を通して－」『北陸学院短期大学紀要』第40号 P.17-32
- 3) 『小学校学習指導要領(音楽)』文部科学省
- 4) 『小学生の音楽5 指導書 研究編』教育芸術社 P.10-11
- 5) 前掲書『小学生の音楽5 指導書 研究編』教育芸術社 P.17
- 6) 『小学生の音楽5』教育芸術社
- 7) 『小学生の音楽6』教育芸術社
- 8) 多保田治江 2004年「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて(4)」『北陸学院短期大学紀要』第36号 P.13-28
- 9) 前掲書『小学生の音楽6 指導書 研究編』教育芸術社 P.17
- 10) Malcolm Tait & Paul Haack 1984 Principles and Process of Music Education Columbia University Teachers College Press. (千成俊夫 [ほか] 訳 1991『音楽教育の原理と方法』音楽之友社 P.169)

別表1

		小学生の音楽5											3音間の音程関係のクロス集計													
音程Ⅱ	音程Ⅰ	-6	-5.5	-5	-4.5	-4	-3.5	-3	-2.5	-2	-1.5	-1	-0.5	0	0.5	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6
6											3		1	1												
5.5																										
5													2													
4.5										2		9		16												
4													3	1		2										
3.5							1			1	2	6		7		2	1	1								
3																										
2.5					3	5		5		5	18	10	16		10		6						1			
2									3		16		3	9		13		3								
1.5								4		11	12	12	18		19		3	9								
1			1	8		9		6	33	13	99		68	75	100	32	4	8				1				
0.5					5	1		1		24	1	38	24		75		1				2		1			
0			1	1	3		1	14	11	28	92	36	152	26	75	9	11	14			8	3	4			
-0.5										15	2	75		27	47		5	3								
-1			1					8	1	34	116	63	96		111	2	14	15			6		2			5
-1.5					3					8		31	8	25	10	16	19			9	2	2				
-2	1							3		6	2	6	8		21		4	5			2		10			
-2.5								2	2		2		10	3	15	1		6			1		1			
-3													1													
-3.5													4		9	1	2	3					7			
-4											3		4			3										
-4.5													5		1			1						2		
-5													1			1						1				
-5.5																										
-6																							1			

別表2

		小学生の音楽6											3音間の音程関係のクロス集計													
音程Ⅱ	音程Ⅰ	-6	-5.5	-5	-4.5	-4	-3.5	-3	-2.5	-2	-1.5	-1	-0.5	0	0.5	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6
6													1													
5.5												2														
5													1													
4.5	1											9		12	2	1										
4											4		3	8		2										
3.5	1										1	5	2	7		1	1									
3																										
2.5	2					6		4		10	13	11	32		7		3									
2									2		13		1	3		3		2								
1.5					3		4		10	4	9	15		13		1	2									
1			2		14		10	16	9	58	1	62	51	56	21		13					2				
0.5			1		1	4		3		8		24	23		51	1	1	1								
0				1	1	4		8	8	22	77	38	106	17	64	6	8	27			5	1	10			1
-0.5				4	5				12		57		18	27	1	3	4					4				
-1				1	2	2		13	2	30	88	41	58		75	3	3	19			6		3	1		
-1.5					1				9		27		11	11	11	17	1	6			3	7				
-2			1							6	5		15		12		6	2			1					
-2.5										4	4	1	13	1	10			9			1					
-3																										
-3.5													2	13		2	4		4		2	2	3		2	
-4													1	1	1											
-4.5															2								4			
-5														1		1						1	1			
-5.5																										
-6																1			1			1	1			